

門真のめざす教育の実現に向けた

今と将来の学校づくりについて

答 申 (案)

(第 5 次)

令和 7 年 2 月 ■ 日

門真市学校適正配置審議会

目 次

はじめに	1
1 教育委員会からの諮問	2
2 多様化する子どもたちへの対応と人とのつながりを大切にした門真のめざす教育	3
(1) 令和の日本型学校教育	3
(2) 門真のめざす教育	4
3 かわりゆく学校と門真市のまち	5
(1) 減少する「児童生徒数」	5
(2) 校舎の「築年数」	7
(3) 門真市の「今後のまちづくり」	8
(4) これまでの「学校の変遷」	8
(5) 学校再編が必要な背景	9
4 今と将来両方の学校のこれから	10
(1) 「これからの教育を実現する」ための検討	10
(2) 「児童生徒数」を考慮した検討	10
(3) 「老朽化した校舎」への対応	11
(4) 「今後のまちづくり」を考慮した検討	11
(5) 「学校の変遷」を踏まえた検討	11
(6) 「門真市全体の学校の将来像」を踏まえた検討	11
5 具体的提言	13
(1) 北西エリアについて	13
(2) 北東エリアについて	14
(3) 南西エリアについて	15
(4) 南東エリアについて	16
(5) 具体的提言やそれに至るまでに出た委員からの意見について	17
6 これからの門真の学校づくりについての留意事項	18
おわりに	19

本日の第6回のワークショップや
第7回審議会で議論をしていきます。

は じ め に

1 教育委員会からの諮問

本審議会は、門真市附属機関に関する条例（平成 25 年門真市条例第 3 号）別表 2 号の表門真市学校適正配置審議会の項の規定に基づき、門真市教育委員会から次の内容について諮問を受け、審議を行いました。

門真市学校適正配置審議会第四次答申以降の門真市立学校のあり方について

2 令和の日本型学校教育と門真のめざす教育の実現に向けた これからの学校づくりの方向性

本審議会の役割は、「令和の日本型学校教育」や第4次学校適正配置審議会答申（令和2（2020）年2月）で示された「門真のめざす教育」を実現するために、学校をどう創っていくのかを検討することです。

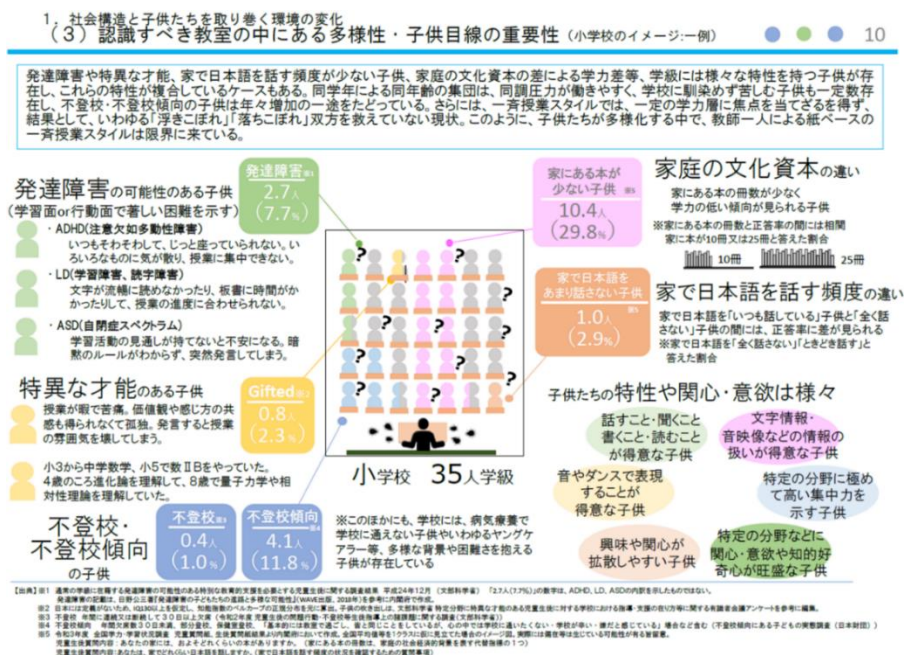
第4次学校適正配置審議会答申から大きく年数は経過していませんが、子どもたちを取り巻く環境や教育内容、子どもたち自身の多様化、今後の本市のまちづくりの計画など、様々な状況が変化しています。

そこで、本審議会では、「令和の日本型学校教育」や「門真のめざす教育」の実現をめざすことを前提に、対象とする学校等に優先順位をつけながら、再編を進めることとしました。また、対象となる学校や校区の中だけで学校等の再編の検討をするのではなく、門真市全体の学校の将来像を見据えて、再編を検討していくことを大切にしました。

(1) 令和の日本型学校教育

① 子どもたちの多様化

現在、教室には様々な特性を持つ子どもが存在しています。このような子どもたちがいる中で、教師一人による紙ベースの一斉授業スタイルで授業を行うこれまでの授業スタイルのままでは、多様化している子どもたちに対応することは困難な状況です。



【図1】（第1回準備会資料）Society 5.0の実現に向けた教育・人材育成に関する政策パッケージ

<中間まとめ> 令和3年12月24日

②「個別最適な学び」

多様な子どもたちの教育的ニーズや一人ひとりの個性や可能性をより伸ばすため、「指導の個別化」と「学習の個性化」を行い、児童生徒自身が自己調整しながら進めていく学習のことです。

③「協働的な学び」

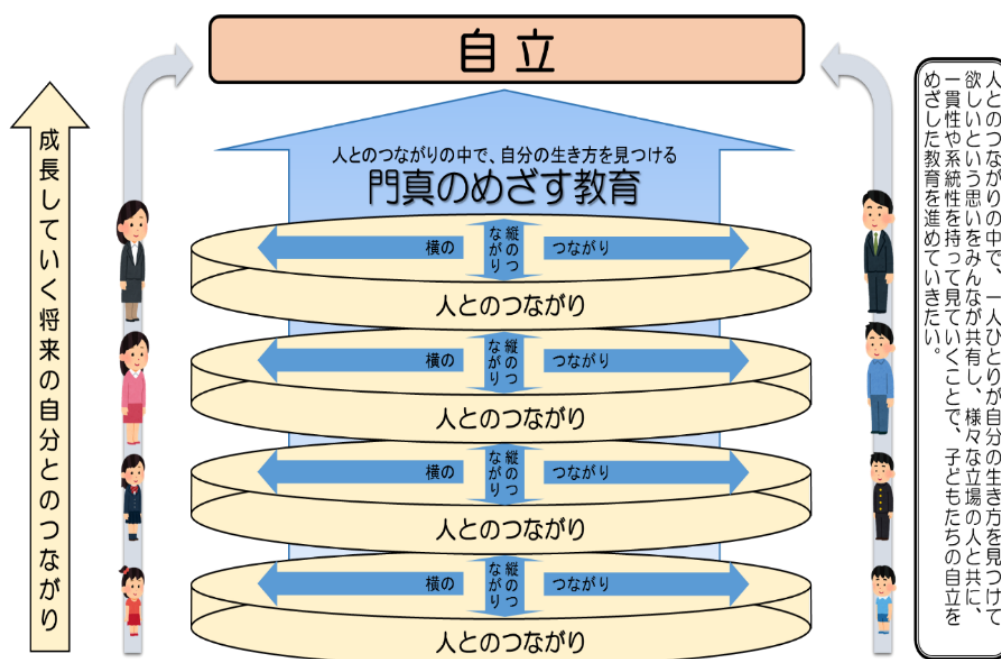
探究的な学習や体験活動等を通じ、子ども同士や地域をはじめとした多様な人とのつながりの中で協働しながら進めていく学習のことです。

④「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

「個別最適な学び」だけでは、子どもたちが個別に黙々と端末に向かって学ぶような状況になることも考えられます。「個別最適な学び」を「協働的な学び」に還元し、またその成果を「個別最適な学び」に生かすなど、それぞれの学びを一体的に充実させることが求められています。

(2) 門真のめざす教育

子どもたちの将来の「自立」をめざす上では、「人は人を浴びて人となる」といった言葉のように、多様な人とのつながりが大切であり、第4次学校適正配置審議会答申（令和2（2020）年2月）で示された、多様な人とのつながりの中で自分の生き方を見つける「門真のめざす教育」の考え方を本審議会でも継続して大切にして、学校のあり方を考えていくこととしました。



【図2】（第1回準備会資料）将来の自立をめざして自分の生き方を見つける教育

具体的な再編のあり方・学校配置について検討を進める上で、まずは必要となる学校やまちや今後のまちづくりなどの情報について整理し、その上で基本的な考え方を定めることとしました。

児童生徒数の推移 (令和5年5月1日現在:人数)

昭和55年度時点 児童生徒数の
約27.5%にまで減少

24,088

6,625 推計

■ 小学校
■ 中学校
■ 合 計

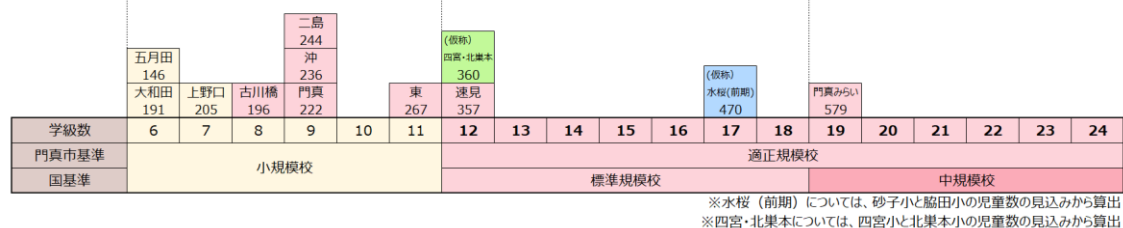
年度	小学校	中学校	合 計
昭和45年	11,200	3,800	15,000
昭和46年	12,500	4,200	16,700
昭和47年	14,000	4,500	18,500
昭和48年	15,000	4,800	19,800
昭和49年	16,000	5,000	21,000
昭和50年	17,000	5,200	22,200
昭和51年	17,500	5,500	23,000
昭和52年	17,800	5,800	23,600
昭和53年	18,000	6,000	24,000
昭和54年	18,200	6,200	24,400
昭和55年	18,500	6,500	25,000
昭和56年	18,000	6,000	24,000
昭和57年	17,500	5,500	23,000
昭和58年	17,000	5,000	22,000
昭和59年	16,500	4,500	21,000
昭和60年	16,000	4,000	20,000
昭和61年	15,500	3,500	19,000
昭和62年	15,000	3,000	18,000
昭和63年	14,500	2,500	17,000
平成元	14,000	2,000	16,000
平成2	13,500	1,500	15,000
平成3	13,000	1,000	14,000
平成4	12,500	1,000	13,500
平成5	12,000	1,000	13,000
平成6	11,500	1,000	12,500
平成7	11,000	1,000	12,000
平成8	10,500	1,000	11,500
平成9	10,000	1,000	11,000
平成10	9,500	1,000	10,500
平成11	9,000	1,000	10,000
平成12	8,500	1,000	9,500
平成13	8,000	1,000	9,000
平成14	7,500	1,000	8,500
平成15	7,000	1,000	8,000
平成16	6,500	1,000	7,500
平成17	6,000	1,000	7,000
平成18	5,500	1,000	6,500
平成19	5,000	1,000	6,000
平成20	4,500	1,000	5,500
平成21	4,000	1,000	5,000
平成22	3,500	1,000	4,500
平成23	3,000	1,000	4,000
平成24	2,500	1,000	3,500
平成25	2,000	1,000	3,000
平成26	1,500	1,000	2,500
平成27	1,000	1,000	2,000
平成28	800	1,000	1,800
平成29	600	1,000	1,600
平成30	400	1,000	1,400
令和元	200	1,000	1,200
令和2	100	1,000	1,100
令和3	50	1,000	1,050
令和4	30	1,000	1,030
令和5	20	1,000	1,020

門真市立学校

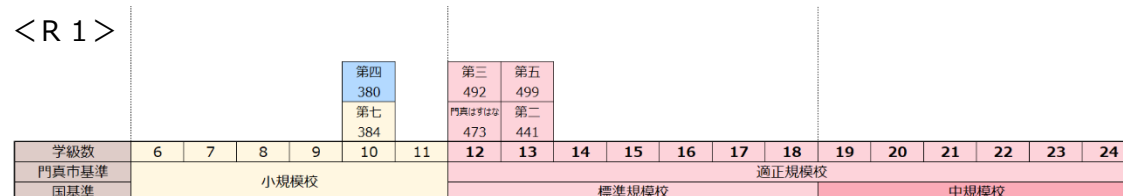
規模別の小学校一覧

[illegible][illegible]

< R11 > (見込み)



規模別の中学校一覧



< R5 >



< R11 > (見込み)



【図4】（第1回準備会資料）学校規模の現状と推移

上記の図からも読み取れるように、最も多い時期（昭和55年頃）と令和5年時点を比べると、昭和55年時点の約27.5%まで児童生徒数が減少している状況です。

また、児童生徒の増加とともに学校分離を行い、学校数を増やしてきましたが、現状の児童生徒数に対して学校数が多い状況にあり、その結果、ほとんどの学校が、令和11年時点の見込みでは、「小規模校」となってしまう可能性があります。

(2) 校舎の「築年数」

大規模改造を行っている学校もあるものの、大半の学校が令和5年時点で、築50年を超えるなど、建て替えもしくは大規模な改修が必要となる学校が複数ある現状です。

市内小学校の開校年月日（建築年月日順）

小学校名	開校年月日	建築年	経過年数		校地面積 (㎡)	運動場面積 (㎡)	階数	延床面積 (㎡)	備考
門真小学校	明治5年6月	昭和40年	1	58	16,657	7,725	4	7,742.89	
大和田小学校	明治5年6月	昭和40年	1	58	13,553	6,150	3	5,852.34	
四宮小学校	明治7年10月12日	昭和40年	1	58	17,744	9,835	4	6,321.91	統合建替予定
古川橋小学校	昭和40年4月1日	昭和40年	1	58	10,366	5,413	3	5,088.90	
門真みらい小学校	平成24年4月1日	昭和45年	5	53	14,867	9,363	4	7,467.87	H17・H18 大規模改造
沖小学校	昭和45年4月1日	昭和46年	6	52	17,410	10,522	4	6,019.77	H27・H28 大規模改造
上野口小学校	昭和46年4月1日	昭和46年	6	52	15,312	6,237	4	5,961.36	
遠見小学校	昭和46年4月1日	昭和47年	8	51	14,079	7,777	4	6,308.50	H9・H10 大規模改造
鵜田小学校	昭和47年4月1日	昭和47年	8	51	17,625	11,351	4	7,057.73	R8 建替予定
二島小学校	明治8年4月3日	昭和48年	10	50	15,625	8,448	4	6,603.15	
北巣本小学校	昭和49年4月1日	昭和49年	11	49	14,796	8,368	4	5,445.86	統合建替予定
五月田小学校	昭和51年4月1日	昭和51年	12	47	16,847	10,719	4	5,438.22	H25・H26 大規模改造
砂子小学校	平成17年4月1日	昭和51年	12	47	18,417	13,635	4	5,394.17	統合予定
東小学校	昭和58年4月1日	昭和58年	14	40	15,023	6,873	3	5,422.99	5

市内中学校の開校年月日（建築年月日順）

中学校名	開校年月日	建築年		経過年数	校地面積 (㎡)	運動場面積 (㎡)	階数	延床面積 (㎡)	備考
第二中学校	昭和38年4月1日	昭和39年	1	59	16,439	10,660	3	7,628.64	
第三中学校	昭和43年4月1日	昭和44年	2	54	20,270	9,307	4	7,698.42	
第四中学校	昭和47年4月1日	昭和48年	3	50	20,570	11,655	4	7,643.43	H11・H12大規模 R8 建替予定
第五中学校	昭和48年4月1日	昭和49年	4	49	18,798	12,274	4	7,287.41	H27・H28 大規模改造
第七中学校	昭和53年4月1日	昭和53年	5	45	20,654	10,993	4	7,925.00	
門真はすはな中学校	平成24年4月1日	平成24年	6	10	16,458	8,805	4	9,482.87	H24 大規模改造

【図5】（第1回準備会資料）学校施設の現状について

6

令和5年の大型商業施設の開業など、現在門真市のまちは大きく変わろうとしています。また、令和8年には南西のエリアに本市初となる義務教育学校である（仮称）門真市立水桜学園も開校し、「教育からもまちを変える」学校として特色のある教育活動を計画しています。



1960年～1970年代を中心に門真小・大和田小・四宮小から分離していきました。

1962年 北小
1970年 中央小
1966年 中央小
1965年 古川橋小
1974年 北瀬本小
1971年 上野口小
1872年 門真小
1872年 速見小
1872年 大和田小
1970年 沖小
1976年 五月田小
1967年 南小
1976年 水島小
1972年 脇田小
1983年 東小
1874年 四宮小
1875年 二島小

門真市立学校（小学校）が増えていった様子（学校分離）

8

門真の学校は1960年から1970年代を中心に、旧村の4つの小学校（門真小学校、大和田小学校、四宮小学校、二島小学校）から分離設置されてきました。

学校の児童生徒数や築年数、まちづくりなどは大きく変わりつつありますが、この旧村の4つの小学校については、令和6年度現在で開校から約150年経過していますが今も変わらず、学校としての歴史を歩み続けています。

(5) 学校再編が必要な背景

上記の(1)(2)のような現状かつ子どもたちや子どもたちが置かれている環境が多様化する中、令和の日本型学校教育や門真のめざす教育を実現するには、よりよく学習できる環境の整備が必要となります。

門真のめざす教育でも大切にしている「多様な人とのつながり」を創る上では、一定の学級数や学校規模の維持などが必要です。また、個別最適かつ協働的に授業を学んでいくためには、既存の「教室の中で一斉学習を行う」だけの授業スタイルだけで実現することは困難です。その上で多様な学習の場を子どもたちに提供するための校舎の工夫も必要です。

しかし、児童生徒数の減少や校舎の老朽化が著しく、このままでは学習環境の整備という点において、十分とは言えない現状があります。あわせて学校再編には、多額の費用が発生します。限られた予算の中で、今だけでなく、今と将来両方を見据えた学校再編が求められています。

このような背景から、本審議会では、「学校再編にあたっての基本的な考え方」を整理し、この考え方をもとに学校の再編を検討していきました。

4 今と将来両方の学校のこれから

これまでの「3 かわりゆく学校と門真市のまち」の情報や背景を整理し、門真市全体の学校の将来像を踏まえた学校の再編を検討するため、以下のような「学校再編にあたっての基本的な考え方」をまとめました。



【図8】（第4回準備会資料） 学校再編にあたっての基本的な考え方

(1) 「これからの教育を実現する」ための検討

子どもたちの多様化への対応や多様な人とのつながりを大切にした「門真のめざす教育」の実現に向け、再編統合する学校だけに関わらず、市内全ての学校で、「令和の日本型学校教育」や「門真のめざす教育」の実現をめざす必要があります。そのため、これからの教育を実現することを前提として学校の整備を含めた再編統合を検討していくこととしました。

(2) 「児童生徒数」を考慮した検討

児童生徒数が今後も減少する見込みの中、子どもたちが多様な人間関係の中で学び、人とのつながりを創るためには、一定数の児童生徒がともに学び、「横のつながり」の中で育つ環境が必要となります。そこで既に単学級になっている、また、将来的に単学級となることが見込まれる学校については、速やかな検討が必要であると考えました。

(3) 「老朽化した校舎」への対応

高度成長期の人口急増に合わせて、同時期に建設された門真の学校は、そのほとんどが建設後、50 年以上が経過している現状があり、建替えや改修を検討する時期にもなっています。

快適で楽しく過ごせる場所としてのこれからの学校づくりを考えるにあたっては、学校施設の築年数や過去の大規模改修の状況等を考慮した検討が必要であると考えました。

(4) 「今後のまちづくり」を考慮した検討

今後大きく門真のまちづくりが進む予定であり、エリアによっては、未就学児や児童生徒の増加、または、現在の推計よりも減少しない可能性があります。(2)(3)で対象の優先順位をつけた上で、今後のまちづくりも踏まえ、より広い視野での学校等の再編の検討を行う上で必要であると考えました。

(5) 「学校の変遷」を踏まえた検討

門真の小学校は、旧村の4つの小学校（門真小学校、大和田小学校、四宮小学校、二島小学校）から分離設置されてきた歴史や、これまでの再編の経緯などについては、地域とより一層連携し、地域とともにある学校づくりをする上で考慮が必要です。(4)同様、(2)(3)で対象の優先順位をつけた上で、この学校の変遷等も踏まえ、より広い視野での学校等の再編の検討を行う上で必要であると考えました。

(6) 「門真市全体の学校の将来像」を踏まえた検討

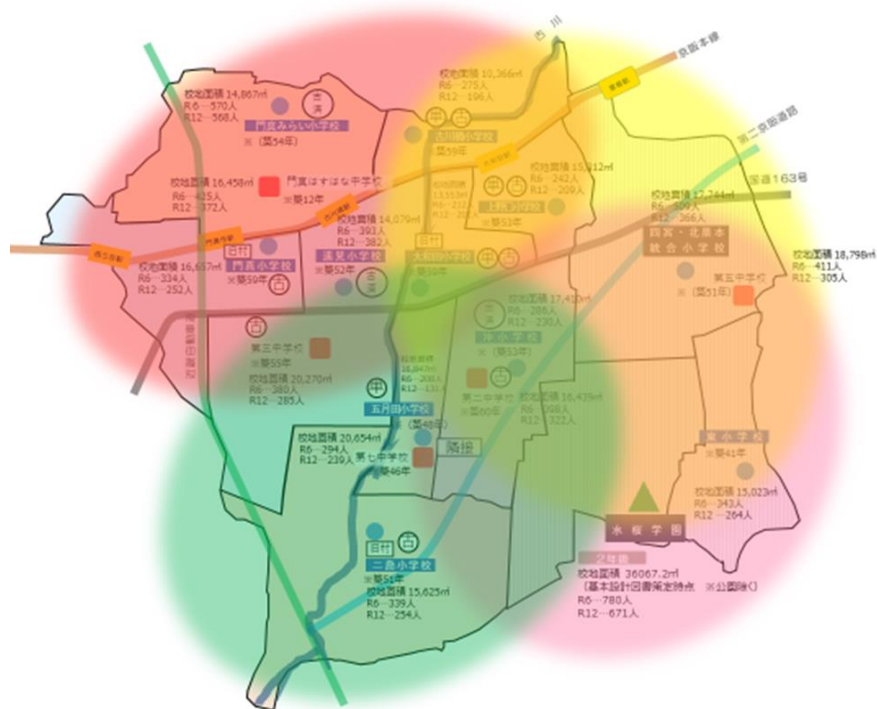
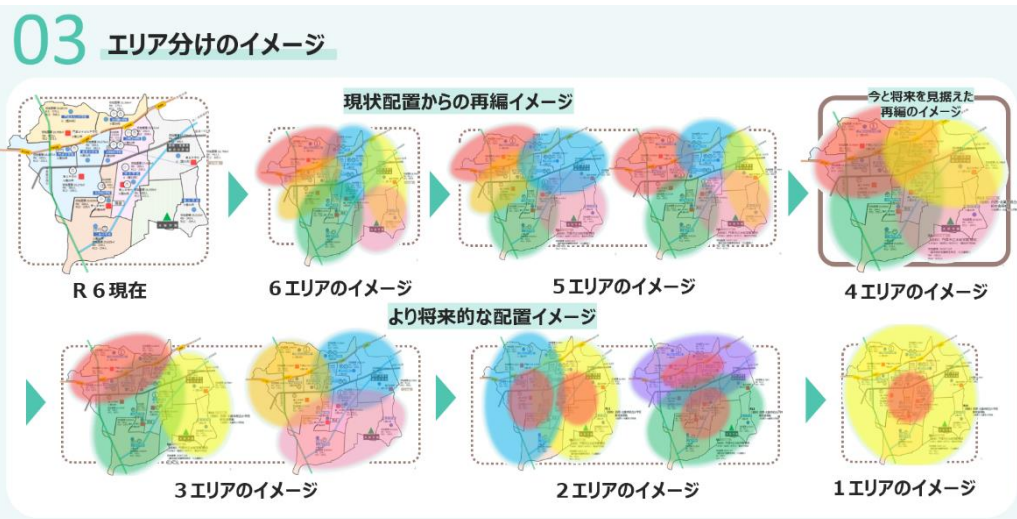
(2)(3)で対象となる学校や校区だけでなく、(4)(5)の視点も踏まえ、より広い視野から門真市全体の学校の将来像を見据えた再編統合の検討を本審議会では行うことを確認しました。また、学校だけでなく必要に応じて校区の再編についてもあわせて検討が必要であると考えました。

その上で、本審議会では、ワークショップ形式の審議会などを複数回重ね、将来的なエリア分けを検討しました。

ワークショップでは、様々な意見が活発に飛び交い、中には、現状の校区割のままで検討していくといった意見や、市内に1小1中のみにしてはどうかというような将来を見据えた意見も出ました。

そこで、本審議会は「学校再編にあたっての基本的な考え方」に立ち戻り、今回の答申では、今と将来両方の学校のこれからを考えるため、現在6中学校区ある校区割を4エリア程度にする再編をめざすこととしました。

そして、図5の4つのエリア分けのイメージや「学校再編にあたっての基本的な考え方」①～⑤をもとに具体的提言の検討を進めていきました。



【図9】（第6回準備会資料）今と将来両方を見据えたエリア分けのイメージ案

5 具体的提言

(1) 北西エリアについて

【現状を踏まえての提言】

【期待される効果と留意点】

(2) 北東エリアについて

【現状を踏まえての提言】

【期待される効果と留意点】

(3) 南西エリアについて

【現状を踏まえての提言】

【期待される効果と留意点】

(4) 南東エリアについて

【現状を踏まえての提言】

【期待される効果と留意点】

(5) 具体的提言やそれに至るまでに出た委員からの意見について

6 これからの門真の学校づくりについての留意事項

お わ り に